

# 日経平均6万円 2つの条件

『日本株はどこまで上がるか』出版記念  
本当に上がるの??

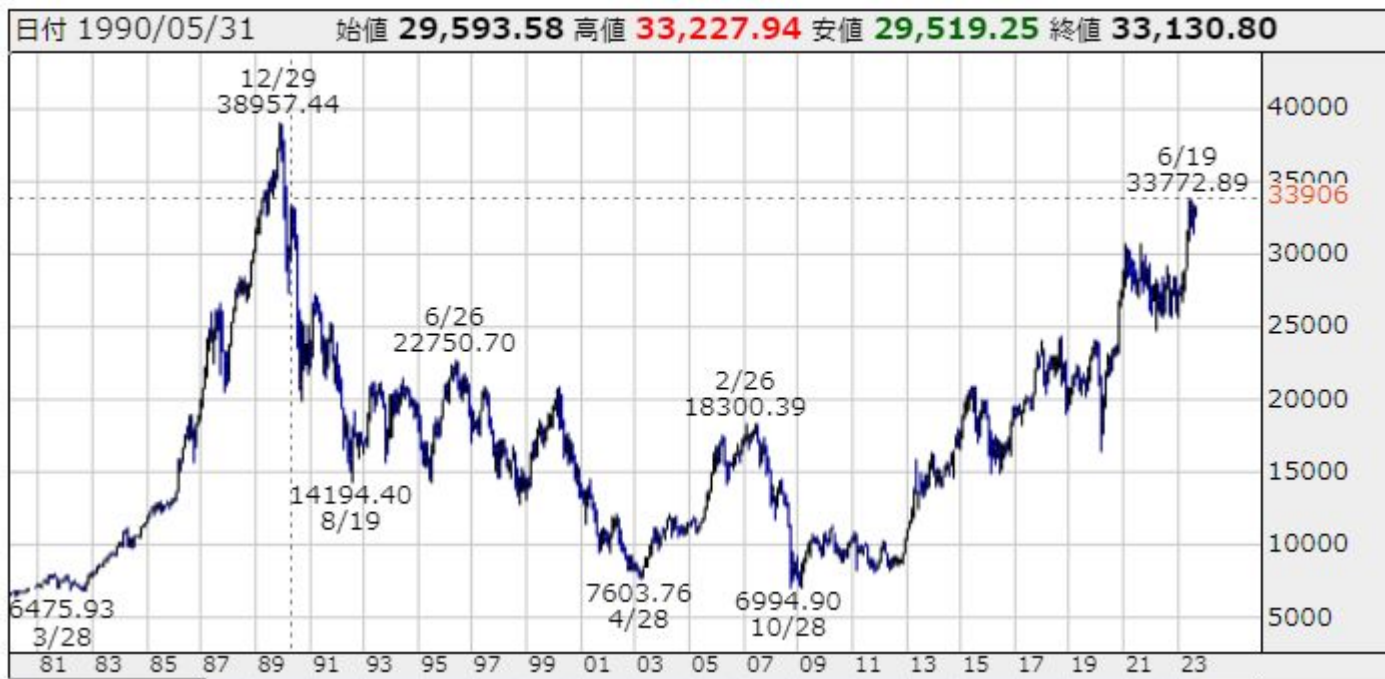
2023/09/07

## 2つの条件

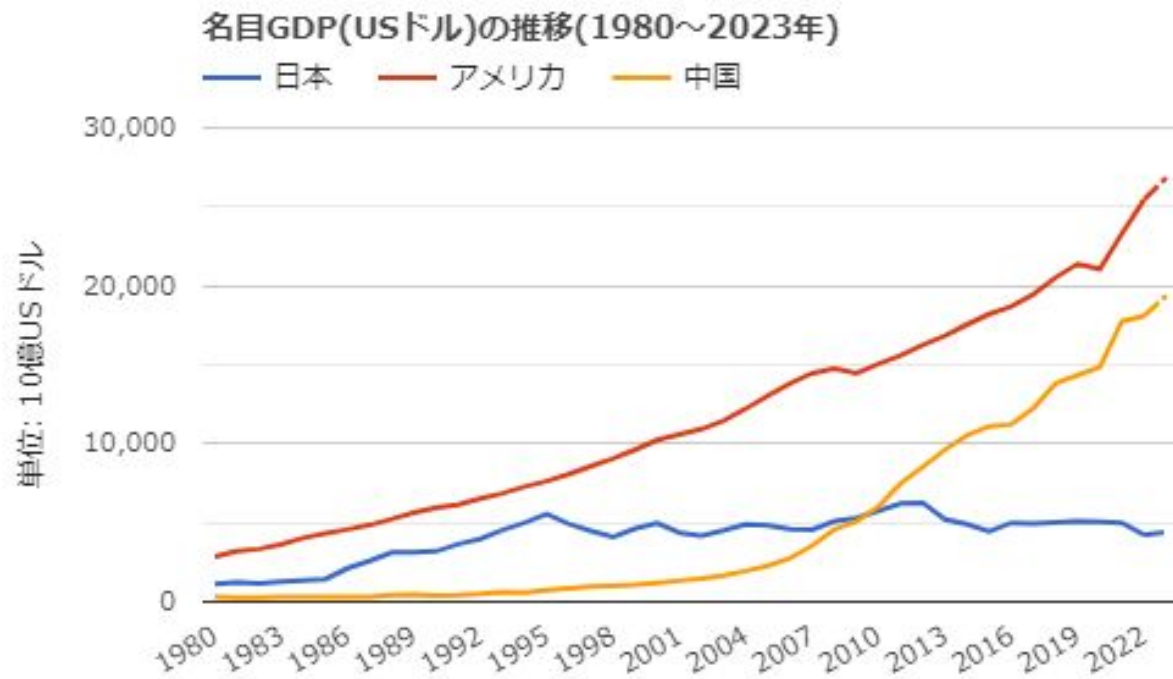
① 企業業績

② 株式需給

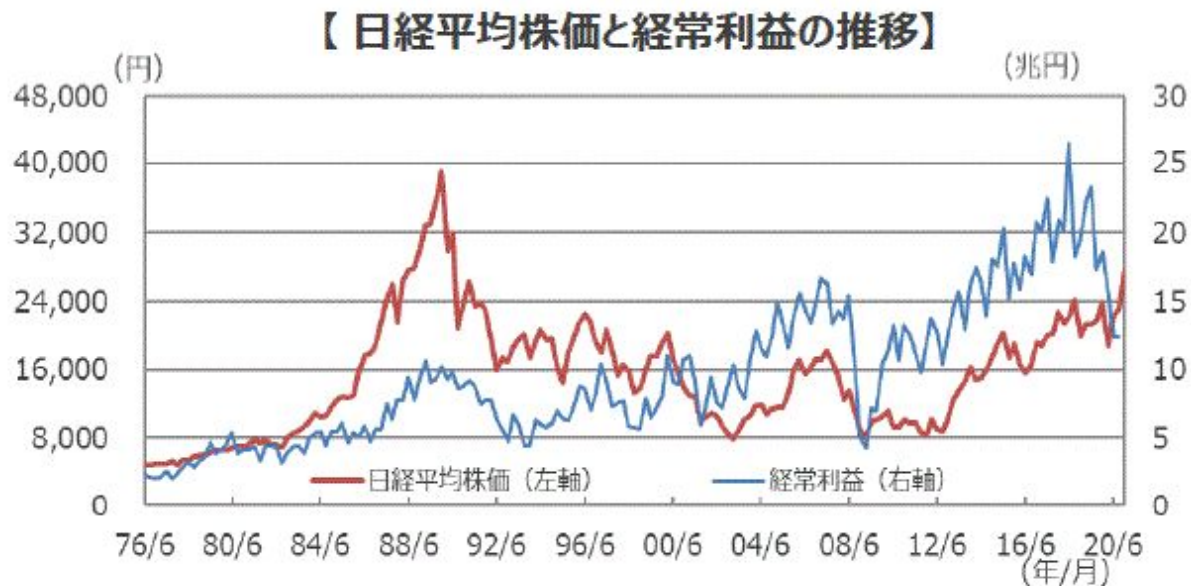
# 日経平均株価



# GDP



# 上場企業経常利益



(注) 日経平均株価は1976年6月～2020年12月の四半期末終値。

経常利益は法人企業統計1976年6月～2020年9月。

(出所) QUICK、FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

# 日経平均構成率



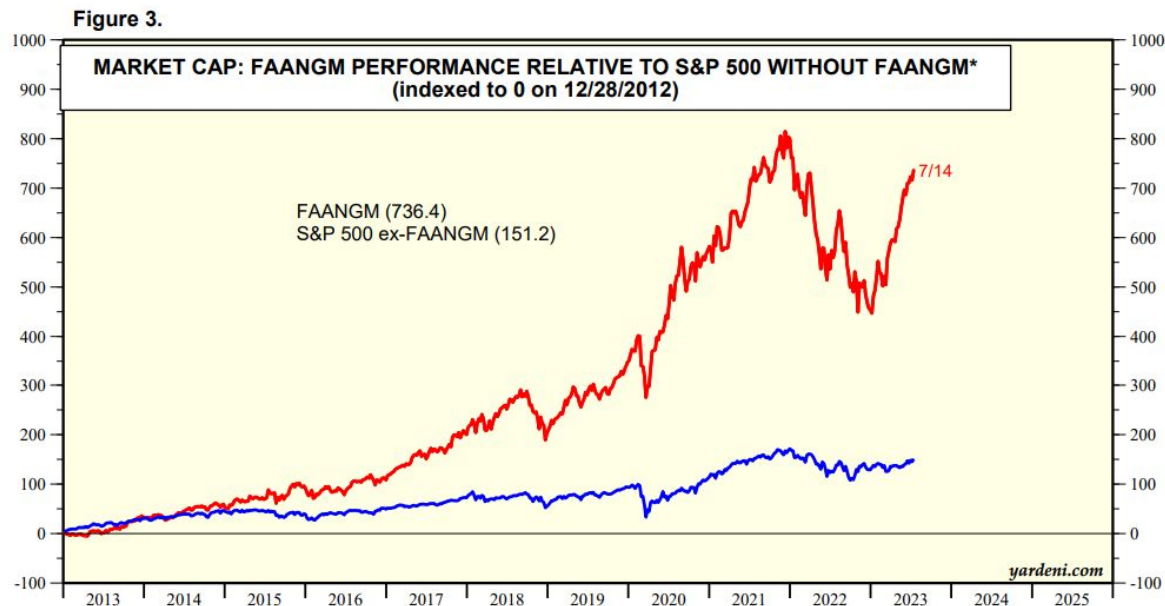
GDP < 企業収益

< 「勝ち組」の収益  $\div$  日経平均

GDPが上がらなくても、「一部の勝ち組」が大きく伸びれば日経は上がる！

# 米国株もGAFAMによって支えられている

## FAANGMs



\* FAANGM stocks include Alphabet, Amazon, Apple, Meta, Microsoft, and Netflix. Both classes of Alphabet are included.  
Source: Standard & Poor's and Yardeni Research Inc.



これからの「勝ち組」産業：半導体

超微細化→積層化  
主導権はソフトからハードへ  
生成AI革命

# 半導体における日本企業の強み

長年の研究開発

顧客(BtoB)への執念

地政学リスク

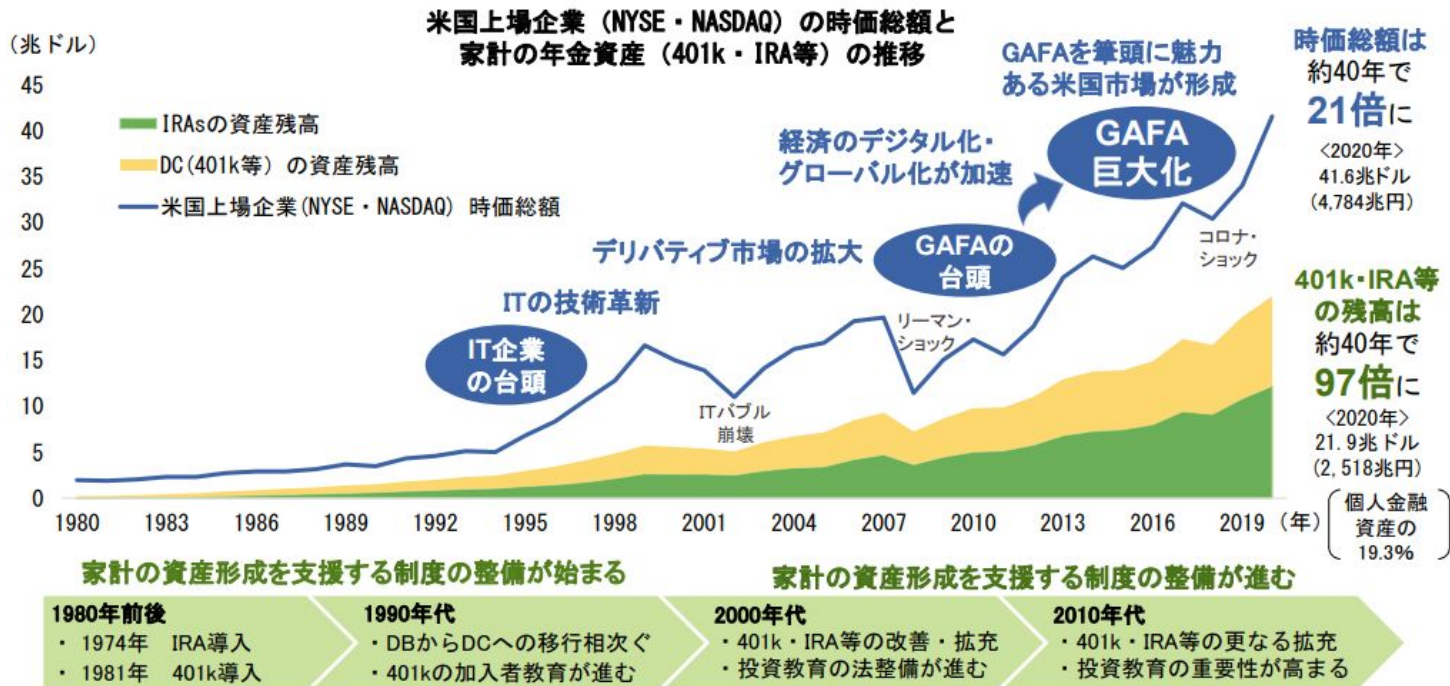
優秀な人材

円安



# <米国>①概観:家計の資産形成を支援する制度の整備と資本市場の発展

- 米国では、約40年の間で、金融資本市場の発展と企業の成長が著しい。
- 背景の一つとして、米国では家計の資産形成を支援する制度(主に私的年金制度)の整備が進んでおり、**家計の年金資金が積立投資の形で長期安定的に市場に流入していることが、市場の需給構造にプラスの影響を与えており、その他の要因と相まって家計と企業との「成長と分配の好循環」の実現に寄与していると考えられる。**



(注)1ドルは115円で換算 (出所) WFE、ICI、各種レポート等

# 2024年から始まる新NISA制度とは？

2024年から始まる新NISA制度は、投資枠の拡大、投資期間の無期限化など、これまで限定的なものであったNISA制度と比べて、新NISA制度は恒久的な制度となり、今後の資産運用に欠かせないものとなりそうです。現行NISA制度にはなかった新NISA制度の特徴的な「3つのポイント」を押さえておきましょう。

## ポイント1

### 非課税投資枠が**拡大**

これまでつみたてNISAが40万円、一般NISAが120万円だった年間非課税投資枠が、新NISAでは**360万円**と大幅に拡大。

## ポイント2

### 非課税保有期間が**無期限**に

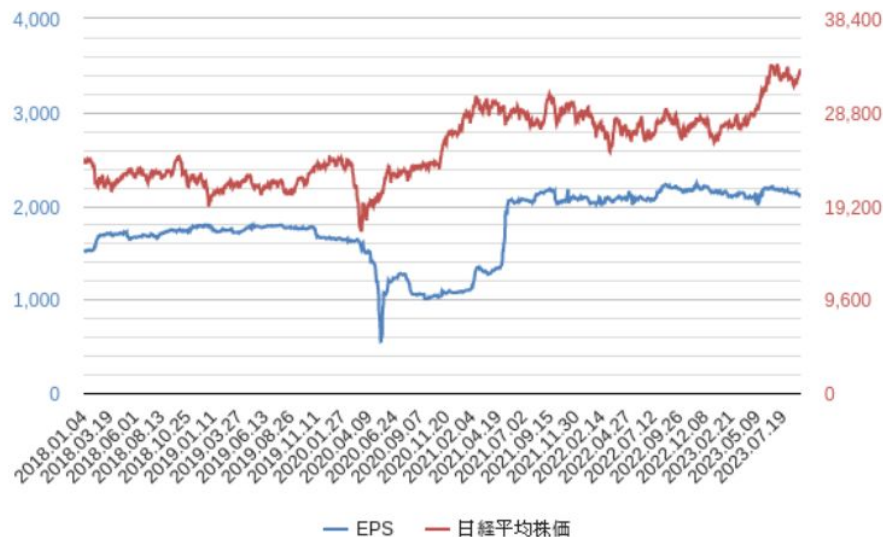
現行NISAでは有限だった非課税保有期間が、**無期限（恒久化）**とされ、これまでよりも長期的な投資が可能になります。

## ポイント3

### 売却で投資枠が**翌年以降復活**

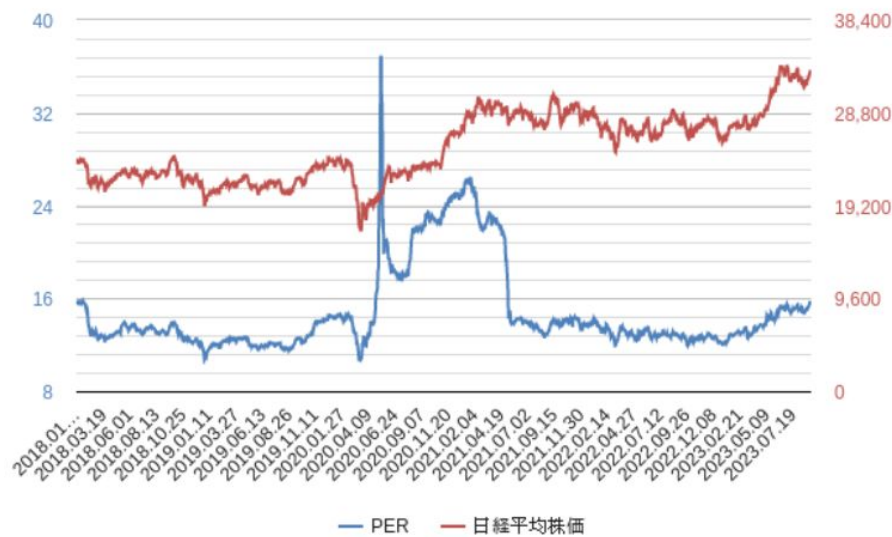
現行NISAでは売却時に投資枠が復活しませんが、新NISAでは売却分の非課税保有限度額が**再利用可能**となります。

# 2028年に日経平均6万円の条件



EPS: 2,150円 → 3,159円 (年8%成長)

**「勝ち組」企業が伸びる**



PER: 15倍 → 20倍

**日本人が日本株を買う**

長期投資家がやるべきこと

「勝ち組」を買え！